



22112039



**JAPANESE A2 – STANDARD LEVEL – PAPER 1**  
**JAPONAIS A2 – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1**  
**JAPONÉS A2 – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1**

Wednesday 11 May 2011 (morning)

Mercredi 11 mai 2011 (matin)

Miércoles 11 de mayo de 2011 (mañana)

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

---

**INSTRUCTIONS TO CANDIDATES**

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Section A consists of two passages for comparative commentary.
- Section B consists of two passages for comparative commentary.
- Choose either Section A or Section B. Write one comparative commentary.
- It is not compulsory for you to respond directly to the guiding questions provided. However, you may use them if you wish.

**INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS**

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- La section A comporte deux passages à commenter.
- La section B comporte deux passages à commenter.
- Choisissez soit la section A, soit la section B. Écrivez un commentaire comparatif.
- Vous n'êtes pas obligé(e) de répondre directement aux questions d'orientation fournies. Vous pouvez toutefois les utiliser si vous le souhaitez.

**INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS**

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- En la Sección A hay dos fragmentos para comentar.
- En la Sección B hay dos fragmentos para comentar.
- Elija la Sección A o la Sección B. Escriba un comentario comparativo.
- No es obligatorio responder directamente a las preguntas de orientación que se incluyen, pero puede utilizarlas si lo desea.

問題 A か問題 B のどちらかを選び、答えなさい。

### 問題 A

次の二つの文章について、共通点・相違点・主題を分析し比較しなさい。またその際、筆者が自分の考えを伝えるために用いている文の構成・語彙・言葉の象徴するもの・文体などの要素を考慮に入れなさい。この二つのテキストの終わりには設問がありますが、設問に直接答える必要はありません。この設問を、単にコメント欄を書く手がかりとして用いることも可能です。

#### テキスト 1

日本人が日々の生活でどれぐらい幸せを感じているかを点数で表してもらったところ、10 点満点中、平均は 6.5 点だったと内閣府が 27 日発表した。<sup>ないかくふ</sup> 2009 年度の国民生活選好度調査で示されたもので、欧州を中心とする 28 か国で実施された同様の調査では最高だったデンマークの 8.4 点には遠く及ばず、英國 7.4 点、ドイツ 7.2 点、フランス 7.1 点と主要国に劣る結果となった。平均も 6.9 点と日本を上回り、内閣府は「欧州に比べ、日本の幸福度が低い」と分析している。

政府は国内総生産(GDP)などの経済指標だけでは測れない「幸福度」を示す指標づくりを進めており、この調査のため 3 月中旬、4000 人を対象に行われた。

「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とし、「どの程度幸せか」を聞いたところ、平均は、男性が 6.2 点、女性は 6.7 点と女性の方が幸福感がやや高かった。

幸福感に影響する要素としては、「健康状況」を挙げた人が 69.7% と最多で、「家族関係」の 66.4%、「家計の状況」の 65.4% と続いた。

国民の幸福感を高めるため政府が目指すべき主な指標は、「公平で安心できる年金制度の構築」が最も高い 69.2%、「安心して子どもを生み育てることのできる社会の実現」が 64.9%、「雇用や居住の安定を確保」が 48.1% と続いた。「年金制度の構築」に関する満足度については、5 点満点で聞いた満足度が 2.01 点と、全 21 項目の中で最低となり、国民が将来の年金受給に不安を抱いていることが改めて示された。

(「日本人の幸福感 6.5 点」2010 年 4 月 28 日読売新聞)

## テキスト 2

今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったです、近かったです。雲はどんな形をしていましたか。風はどんなにおいがしましたか。あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。「ありがとう」という言葉を、今日、あなたは口にしましたか。

5 窓の向こう、道の向こうに、何が見えますか。雨の滴<sup>しづく</sup>をいっぱいにためた蜘蛛<sup>くも</sup>の巣を見たことがありますか。<sup>かし</sup>樺<sup>けやき</sup>の木の下で、あるいは櫻<sup>さくら</sup>の木の下で、立ち止まったことがありますか。街路樹の木の名を知っていますか。樹木を友人だと考えたことがありますか。

この前、川を見つめたのはいつでしたか。砂の上に座ったのは、10 草の上に座ったのはいつでしたか。「美しい」と、あなたがためらわず言えるものはなんですか。好きな花を七つ、挙げられますか。あなたにとって「わたしたち」というのはだれですか。

夜明け前に鳴き交わす鳥の声を聴いたことがありますか。ゆっくりと暮れてゆく西の空に祈ったことがありますか。何歳のとき15 の自分が好きですか。上手に年を取ることができますか。世界という言葉で、まず思い描く風景はどんな風景ですか。

今あなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聴こえますか。沈黙はどんな音がしますか。じっと目をつぶる。すると、何が見えていますか。問いかねると、今あなたにとって必要なのはどっちですか。これだけはしないと、心にきめていることがありますか。

一番したいことはなんですか。人生の材料はなんだと思いますか。あなたにとって、あるいはあなたの知らない人々、あなたを知らない人々にとって、幸福ってなんだと思いますか。時代は言葉をないがしろにしている——あなたは言葉を信じていますか。

(長田弘 「最初の質問」 『長田弘詩集』 2003 年)

長田弘（1939 年～）詩人・評論家。

## 設問

- 二つの文章の筆者<sup>ひつしゃ</sup>は、幸福について、それぞれどのように捉えていますか。
- 二つの文章を読んで、読者はどのように反応すると思いますか。
- ことば遣いや文体を比較して、あなたの考えるところを述べなさい。

## 問題 B

次の二つの文章について、共通点・相違点・主題を分析し比較しなさい。またその際、筆者が自分の考えを伝えるために用いている文の構成・語彙・言葉の象徴するもの・文体などの要素を考慮に入れなさい。この二つのテキストの終わりには設問がありますが、設問に直接答える必要はありません。この設問を、単にコメント欄を書く手がかりとして用いることも可能です。

### テキスト 3

朝は、いつでも自信がない。寝巻きのままで鏡台のまえにすわる。めがね眼鏡をかけないで、鏡を覗くと、のぞ顔が、少しばやけて、しつとり見える。自分の顔の中で一ばん眼鏡が厭なのだけれど、他の人には、わからない眼鏡のよさも、ある。眼鏡をとって、遠くを見るのが好きだ。全体がかすんで、夢のように、のぞ覗き絵みたいに、すばらしい。汚いものなんて、何も見えない。大きいものだけ、鮮明な、強い色、

5 光りだけが目にはいって来る。眼鏡をとって人を見るのも好き。相手の顔が、皆、優しく、きれいに、笑って見える。それに、眼鏡をはずしている時は、決して人とけんかをしようなんて思わないし、悪口も言いたくない。ただ唯、黙って、ポカンとしているだけ。そうして、そんな時の私は、人にもおひとりよしに見えるだろうと思えば、なおのこと、私は、ポカンと安心して、甘えたくなつて、心も、たいへんやさしくなるのだ。

10 だけど、やっぱり眼鏡は、いや。眼鏡をかけたら顔という感じが無くなってしまう。顔から生れる、いろいろの情緒、ロマンチック、美しさ、激しさ、弱さ、あどけなさ、哀愁、そんなもの、眼鏡がみんなさえぎってしまう。それに、目でお話するということも、おか可笑しなくらい出来ない。  
眼鏡は、お化け。

自分で、いつも自分の眼鏡が厭だと思っているゆえ故か、目の美しいことが、一ばんいいと思われる。

15 鼻が無くとも、口が隠されていても、目が、その目を見ていると、もっと自分が美しく生きなければと思わせるような目であれば、いいと思っている。私の目は、ただ大きいだけで、なんにもならない。じっと自分の目を見ていると、がっかりする。お母さんでさえ、つまらない目だと言っている。こんな目を光りの無い目と言うのであろう。たどん、と思うと、かっがりする。これですからね。ひどいですよ。鏡に向うと、そのたんびに、うるおいのあるいい目になりたいと、つくづく思う。青い湖の

20 ような目、青い草原に寝て大空を見ているような目、ときどき雲が流れて写る。鳥の影まで、はつきり写る。美しい目のひとと沢山逢つてみたい。

(太宰 治『女生徒』1939年)

太宰治（1909～1948年）小説家。

たどん・・・炭の粉を丸く固めた黒い燃料

## テキスト 4

1969年2月2日(日) 曇のち時々

一步、自分の部屋から足を踏みだすや否や私はみじめになる。電車の中で、繁華街で、デパートの中で、センスのない安ものの洋服を着た不恰好な弱々しい姿をしているのに耐えられなくなる。美しく着飾った婦人に対する嫉妬、若い男に対しての恥ずかしさ、それらが次から次へと果てしなく広がり、みじめさはドンドン拡大する。

眼鏡売場での鏡の中のその姿、顔はバサバサで不潔で眼鏡をかけた姿は滑稽そのものであった。同じ売場に隣り合わせた中年女の舶來がどうのこうのという話を軽蔑しながらも、その堂々とした風格を羨ましく思う。店員の礼儀のある当たりさわりのない応対、どうして率直に「眼鏡をかけない方がいいです。そのままの方が美しいです。滑稽になりますよ」と言わないのであろうか。眼鏡をかけた私の姿を笑ってほしかった。

眼鏡をかける。私の目に眼鏡の枠が見える。そして今までと全く変わらないかのような眺めがみえる。ガラスを通してみる世界は一見以前の世界と同じようだ。だが私には、今まで見なかつた茶色の世界がみえる。

私が眼鏡をかけようとかえまいと、他人にとってどうと言うこともない。スグに忘れる事なのだ。人はただ、「あら眼が悪かったの、コンタクトの方がいいわよ」という位であろう。そして「おもしろい顔ね」と笑うだろう。ただそれだけなのである。そして私は、眼が悪いのだという役割を演じ続けるだけである。

私は、私をいつわり続けた世界に対する復しゅうの念をこめて、そして私は仮面をかぶっているという安堵をもって、顔がきれいで男にもてるんだという幻想を打ち碎く清涼剤として——。どうやらこの眼鏡は簡単に取りはずすことはむずかしいらしい。

他人は、私をガラスを通してみる。私はガラスを通して現実を見る。そのガラスを取りさつたとき、一体どんな世界があるのか。

(高野悦子『二十歳の原点』1971年)

高野悦子（1949～1969年）立命館大学文学部に在籍。

## 設問

- 二つの文章の語り手は、自分自身をどのように見つめ、他人の目をどのように意識してますか。
- 眼鏡をかけるということは、二人の語り手にとってどのような意味を持っていますか。
- 二つの文章の筆者は、それぞれどのような立場から書いていますか。
- それぞれの文章の語調や文体には、どのような共通点や相違点がありますか。